

Express5800/320Fa-L(R), 320Fb-L(R) カレンダー補正パッチ 適用手順書 (Linux)

はじめに

本書は、カレンダー補正パッチの適用手順について記載しています。本書に記載されている内容をよく読んでご理解いただき、手順に従って適用を行ってください。

対象装置

本手順書は以下の装置を対象としています。

N8800-090, N8800-090A

N8800-091, N8800-091A

N8800-100, N8800-114, N8800-120, NP8800-120P1, NP8800-120P2

N8800-101, N8800-115, N8800-121, N8800-115S1, NP8800-121P1, NP8800-121P2

構成品

カレンダー補正パッチの構成品を確認してください。

項番	品名	指定	数量	備考
1	Express5800/320Fa-L(R), 320Fb-L(R) カレンダー補正パッチ	—	1	gemini_hasdr tc-1.00.00-7.i 686.rpm
2	Express5800/320Fa-L(R), 320Fb-L(R) カレンダー補正パッチ適用手順書 (Linux)	—	1	本書

第三者への譲渡

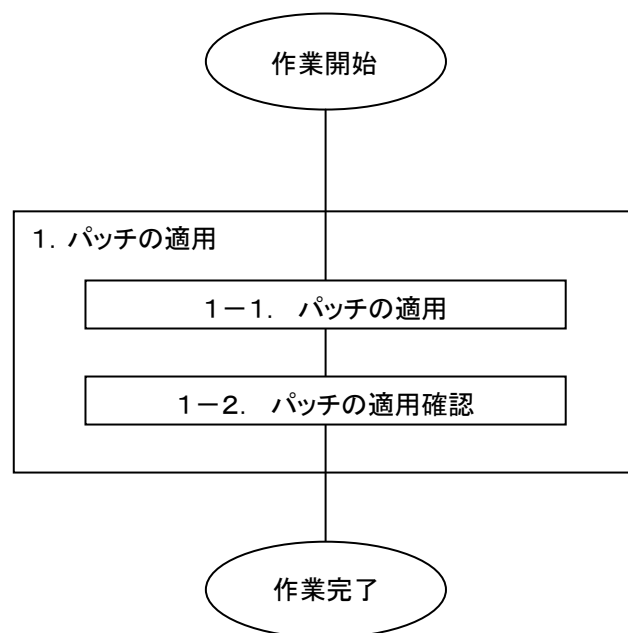
ご購入された Express5800/ft サーバを第三者へ譲渡(または売却)する場合には、カレンダー補正パッチの構成品一式を一緒にお渡しください。

注意事項

- ・ 本パッチの適用後、システムを再起動する必要はありません。
- ・ 本パッチは、一旦適用されると、日付不正が発生する全ての年をカバーします。
- ・ 本パッチの適用は、root アカウントで実施してください。
- ・ OSの再インストールを行う場合は、本パッチの再適用が必要になります。

カレンダー補正パッチ適用の流れ

対象装置にカレンダー補正パッチ(以降、パッチと表記)を適用する手順を示します。



1. パッチの適用

1-1. パッチの適用

下記の手順により、パッチを適用してください。 ※ パッチの適用は、root アカウントで行ってください。

- 1) ダウンロードしたパッチファイル(gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm)を任意のフォルダへ配置します。

※ EXPRESSBUILDER CD-ROM をお持ちの場合には、下記からコピーすることも可能です。

「/HASLINUX/ASIANUX/HASSETUP/RTC/gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm」

- 2) ターミナルで上記フォルダに移動し、下記のコマンドを実行します。

```
rpm -ivh gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm
```

以上で、パッチの適用は終了です。引き続き「1-2. パッチの適用確認」に進んでください。

1-2. パッチの適用確認

下記の手順により、パッチが正しく適用されたかどうかを確認します。

- 1) コンソール画面から、下記のコマンドを実行します。

```
rpm -q gemini_hasdrtc
```

- 2) 下記のように表示されれば、正しくパッチが適用されています。

```
gemini_hasdrtc-1.00.00-7
```

以上で、パッチの適用と確認が終了しました。

2. パッチの動作状態の確認

本パッチをインストールすると、「①システム起動時」と、「②毎週日曜日の 00 時 00 分」に、パッチの動作状態を確認する処理が実行され、結果が「/var/log/message」に登録されます。

A. パッチの動作状態に問題が無い場合

下記のログが登録されます。

```
hasdrtc: RTC Adjuster works normaly.
```

B. パッチの動作状態に問題がある場合

下記のログが登録されます。「3. パッチ設定の修復」を参照して、パッチの設定を修復してください。

```
hasdrtc: Configuration of RTC Adjuster is incorrect.
```

※「①システム起動時」、「②毎週日曜日の 00 時 00 分」に、上記のいずれのイベントログも登録されない場合には、パッチの動作状態に問題があります。保守担当者にお問い合わせ下さい。

3. パッチ設定の修復

「/var/log/message」に「hasdrtc: Configuration of RTC Adjuster is incorrect.」が登録される場合には、付随して下記に挙げるログが「/var/log/message」に登録されます。下記に従って、設定の修復を実施して下さい。

[ログ 1]

```
hasdrtc: DELAY_REBOOT is too short.
```

[問題]

「/etc/hasdrtc.conf」の設定に問題があります。

[修復手順]

1. 「/etc/hasdrtc.conf」を削除します。
2. 「rpm -U --force gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm」により、パッチの上書きインストールを実行します。これにより、正しい設定で「/etc/hasdrtc.conf」が作成されます。

[ログ 2]

```
hasdrtc: crond does not work.
```

[問題]

「crond」が動作してないため、パッチが正しく動作しません。

[修復手順]

1. 「/sbin/service crond start」により、crondを起動します。

[ログ 3]

```
hasdrtc: crond is not started automatically.
```

[問題]

システム開始時に、「crond」が自動的に起動する設定になっていないため、パッチが正しく動作しない可能性があります。

[修復手順]

1. 「/sbin/chkconfig --level 35 crond on」により、システム開始時に「crond」を自動的に起動するように設定します。

[ログ 4]

hasdrtc: correctrtc.cron is wrong.

[問題]

「/etc/cron.d/correctrtc.cron」ファイルの設定に問題があります。

[修復手順]

1. 「rpm -U --force gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm」により、パッチの上書きインストールを実行します。これにより、正しい設定で「/etc/cron.d/correctrtc.cron」が作成されます。

[ログ 5]

hasdrtc: The package of gemini_hasdrtc is modified.

[問題]

パッチインストール後、パッチファイルの一部が修正または削除されており、パッチが正しく動作しない可能性があります。

[修復方法]

1. 「rpm -U --force gemini_hasdrtc-1.00.00-7.i686.rpm」により、パッチの上書きインストールを実行します。